啐啄之機

＜校長だより＞
平成２８年１１月１１日
第　４　号
新庄市立沼田小学校
文責：齋藤　宏

新庄市総合防災訓練に参加！

「人文字の作成」

「心肺蘇生・ＡＥＤ使用体験」

災害用伝言ダイヤル体験

10 月 16 日に本校を会場に、新庄市の総合防災訓練が実施されました。本校では、避難訓練に加え、「ＳＯＳ」「水」などの人文字の作成や消火器による消火訓練、起震車体験、災害用伝言ダイヤル（１７１）の体験、心肺蘇生・ＡＥＤの使用実践などに子どもたちも参加して、災害発生時の対応について多くのことを学ぶ機会になりました。

「起震車体験」

「消火器による消火訓練」

今回は震度６強の地震発生に対する訓練でした。災害はいつ、どのくらいの規模で起こるかわかりません。普段から防災意識を高く持ち、心と物資の両面で備えることの大切さを改めて感じました。

全国学力・学習状況調査の結果について

今年度の全国学力調査結果（６年生対象）は、国語については、「国語Ａ」が全国平均を大きく下回りましたが、「国語Ｂ」は全国平均と同程度、「算数Ａ」と「算数Ｂ」については、どちらも全国平均を上回るという結果となりました。

「国語Ａ」については、ローマ字の読み書きの正答率の低さが大きく影響してしまいました。それを除くと、ほぼ全国と同程度か、全国を上回る結果となりました。

今後の対応としては、学び合いの授業づくりの充実やリレーテストの実施等のこれまでの指導を継続しながら、下記の内容に重点を置いて、指導を進める予定です。

〔国語〕・ローマ字は、パソコンの入力での活用を中心に指導。６年生だけでなく下の学年からの積み上げをしていく。
・読書量を確保すると共に、様々な活動を通して、本が好きで進んで読書する子の育成を図る。

〔算数〕・算数難問挑戦の継続で、数学的な思考力を高める。自力で粘り強く問題に取り組もうとする態度を養う。
・練習問題の確保やふりかえりの工夫を通して、算数の授業での理解度を高めていく。

〔共通〕・思考スキルや学び合うスキルを高め、学び合いの学習の充実を図る。

学習状況調査結果については、生活に関わる面では、テレビを見る時間２時間以上で全国平均を大きく上回っていましたが、ゲーム等の時間２時間以上については、逆に大きく下回っていました。併せて考えると、メディアに接する時間は全国平均と同程度と見ることもできます。家庭学習の時間については、１時間から２時間の間でしている子が、全国平均を大きく上回っており、家庭学習の習慣が多くの子に身に付いていると言えます。

児童自身に関わるものでは、自尊感情・将来の夢や目標・地域とのつながり・挑戦する気持ち・規範意識については、全国平均を大きく上回りました。思いやりについては、全国平均を上回りました。学校目標である「ひとみ輝き、夢をはぐくむ、たくましい子ども」たちが育っていると言えることが分かりました。

校外での子どもたちの活躍

↓〔新庄ロードレース大会〕

３年生から６年生１０名出場。５年女子３位・３年男子５位

←〔最上地区理科自由研究発表会〕
３年生から６年生まで
５名が参加。
全員優秀賞を受賞。

〔山形県発明くふう展〕
７作品８名出品
優良賞受賞 ２作品３名